

県内大学で学ぶ8か国26人の留学生

異文化相互理解セミナー 小池中生徒たちとお国自慢

『兵馬俑』歴史で習った!!

メキシコの『タコス』を自慢

表業家の奉仕団体、燕ロータリークラブ(青柳修次会長)による異文化相互理解セミナーが二日午後、燕市の小池中学校で開かれ、生徒と県内大学で学ぶ留学生が互いの文化を紹介した。

この日は六回目となる業には「世界中の人がどの中学生向けの独自事業で、小池中では初開催。留学生とのフランクな交流を通じ、生徒たちが異文化への理解を深める一助としている。

生徒は全校の百九十六人、留学生は四つの大学から中国、ベトナム、マレーシア、インドネシアなど八か国の二十六人が参加。新潟県立天の日本人学生十九人がサポートした。

開会で青柳会長は「ふれあい、有意義な時間を過ごしていただきたい」とあいさつした。

本編に先立ち、国際交流の意義を解説したコーディネーターの新潟県立大・榎谷圭司教授「地理学」は、「文化が行き来することで、その地域は発展する」と指摘。世界をリードするアップル社など米国のIT企業

贈って喜ばれる花ギフト お花とワイン
花とこころ flanaso フレッシュはな正
三条郵便局前 TEL35-1187



国際交流の意義を説く県立大学の榎谷教授

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身



二十六班に分かれて交流した異文化相互理解セミナー



留学生と交流する生徒たち

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身

「新しいものを生み出すきっかけには、異文化の相互理解は不可欠」と説いた。

このあと、留学生が一人ずつ入って二十六班をつくり、「お国自慢」をテーマに交流した。

生徒たちははかるたやけん玉、ガッチャン将棋、折り紙などの日本の遊びを留学生に教えた。日本食も説明し、「おせちは正月に食べる。三段の箱に縁起のいいものが入っています」。

留学生も故郷をしっかりとPR。フォーマルな民族衣装の「漢服」姿で参加した中国・西安市出身



開会あいさつする青柳会長

年長児と小学生237人

燕市吉田地区文化展 絵画作品応募

燕市文化協会文化部長吉田育施設の年長児や小学生237人から各加盟団体の絵画作品を募集した。応募期間は十月二日から十月三十一日まで。応募作品は、年長児の作品は縦横最大二メートル、小学生の作品は縦横最大一メートル以内とする。応募作品は、十月二日から十月三十一日まで、吉田地区文化センターで展示される。応募作品は、十月二日から十月三十一日まで、吉田地区文化センターで展示される。

近年も応募は少しずつ増えてきたが、ことしはまとめて年長児の作品を持ち込む保育施設が増えることにも、小学生の応募も順調で、全体では昨年をさらに四十人余り上回った。

吉田地区文化展は二日間、吉田産業会館で開催。絵画を応募した子どもは全員に参加賞をプレゼントする。

ことしの交通事故(10月2日)

	三条署			燕署			加茂署		
	当日	合計	前年比	当日	合計	前年比	当日	合計	前年比
発生(件)	0	169	+39	0	101	-12	0	30	-8
死者(人)	0	2	+1	0	1	-1	0	1	0
傷者(人)	0	186	+33	0	116	-13	0	39	-8

物損事故を除く

お気に入りのパンにきっと出会える
パンフォーレット
三条市北入蔵2-18-25
TEL38-4100